

三重県某工場 冷却塔内配管補修

施工日： 2019年10月11日

施工者： (株)折原製作所

(φ300直管部 無圧 傷口拳程の穴)



①拳1つ入る程の傷穴があり、その周辺、並びに配管下部は広範囲に渡り、腐食している状況な為、ウエスで軽く上錆を取り除く。



②特に傷口のふちと、その周辺の腐食が激しく、管が薄くなっていた為、補強の為、オリスチール(金属粉入りエポキシパテ)を充填する。



③拳程の穴には、両面にオリスチールを充填したステンメッシュ(大きい傷穴用補修部品)を使い、穴に蓋をするように貼り付ける。



④通水した際、傷口に急な力が加わり、下地が押される可能性がある為、オリストープ(仮止水用テープ)で抑える。



⑤傷口以外の所も、腐食が激しい箇所には、錆の凸凹を埋める為、オリシール(液体エポキシレジン)を塗布とプチルロール(下地用プチルゴム)を巻き付ける。



⑥配管の延命や下地材の保護、外側の防錆・防食・補強を兼ねて、マホータイを(特殊レジン含浸グラスファイバーテープ)巻く。巻き終わりに、硬化剤の水を含ませて巻いた方向に撫で付けるように絞り、作業完了。